

理事会議事録



テーマ	大阪協会 令和2年10月理事会
日時	令和2年10月21日（水曜日） 19:00～20:30
場所	大阪産業創造館 6階会議室
出席者	参加 23クラブ（欠席 4クラブ）
資料	

議 事 内 容

■ 協会長挨拶（池田 協会長）

- みなさんこんばんは、2月から新型コロナウイルスの拡散が始まり、未だに収束の目途が立たない状況です。東京では、100人～200人の感染者数で推移しており、大阪でも連日50人～60人の感染者が出ている報道されています。日本ではこの程度ですが、ヨーロッパ各国では感染の拡大が深刻で、フランスで1日2万人～4万人の感染者が出ているということです。この流行が第2波になるのかわかりませんが、日本でも現在が第2波とすると、いずれ第3波が来るかもしれません。以前にも申しましたが、我々は屋外で釣りをするので、比較的安全といえそうですが、釣場に行くまでに立ち寄る場所では注意が必要です。また、普段の生活の中でも感染リスクが多くあるので注意をお願いします。

■ 連盟通知事項について（上野 事務局長）

- 毎年12月に開催される拡大理事会において次年度の日程、連盟提出議案について審議されますが、現時点では拡大理事会が中止になる見込みです。従いまして、来年の日程については、連盟本部で日程（案）を作成し各協会に送付され、各協会からの意見を求める方向で進んでいます。その後、皆さんに報告することとなります。そのため、12月協会理事会にて来年度の協会行事を決める事は難しいと思われます。年明けの1月に年間行事を決める事になるかも知れませんが、よろしくをお願いします。

■ 連盟提出議案について（上野 事務局長）

- 連盟拡大理事会の開催が決まっておりませんが、審議については未定となりますが、大阪協会からの提出議案について、皆さんの意見を聞きたいと思います。但し、過去に提出された議案については再提出はできませんので、よろしくをお願いします。

① 連盟発刊の「投げ釣り」の廃刊

理由：現在はインターネットが主流となっており、必要な情報はインターネットに掲載し紙ベース（投げ釣り）を廃刊する。

【意見】現在はネット社会となり、PCやスマホで閲覧する方も多いと思いますが、クラブ員の高齢化が非常に進んでおり、現実にはインターネットを見れないクラブ員も多く、そういう方達は「投げ釣り」を情報源として楽しみにされています。

【協会長】会員全員がインターネットを見れる状況ではありません。全員が同じ情報を得ることがで

きるのは会報だと思うので、廃刊とするのは難しいと思われます。協会の会報にしても同じことが言えると思います。今後、会員がより少なくなってくると、いずれ廃刊も考えなければならないかも知れませんが、現時点では時期尚早と考えます。

※編集部より

掲載記事が殆んど無く苦慮しているところです。記事を書いていただける方がいましたら、どしどし提出をお願いします。

② 大物申請還付金の増額（還付率のアップ）

理由：各協会に大物申請数に応じた還付金をいただいているが、現行の還付率を上げていただき、協会の赤字解消に役立てたい。

③ 大物対象魚（ホッケ）の魚拓寸法の変更

理由：過去にホッケが多数釣れ魚拓寸法 35cm を 37cm に見直したが、近年地球温暖化も影響してホッケがなかなか釣れなくなっているため、35cm に戻せば申請数も増えると思われる。

④ 連盟 S C 大会の開催

理由：本年の S C 大会が全て中止となり、S C 大会の開催を要望する意見がある。競技内容を工夫した上での開催を検討していただきたい。

上記②～④を、大阪協会からの提出議案として提出します。

以 上